課題番号	:F-14-NU-0005
利用形態	:機器利用
利用課題名(日本語)	:次世代半導体デバイスのための材料およびプロセス開発研究
Program Title (English)	:Research and development of materials and processes for next-generation
	semiconductor devices
利用者名(日本語)	: <u>柴山茂久</u> 1,2)
Username (English)	: <u>S. Shibayama^{1,2)},</u>
所属名(日本語)	:1) 名古屋大学大学院工学研究科, 2) 日本学術振興会特別研究員
Affiliation (English)	:1) Graduate School of Engineering, Nagoya University, 2) Research Fellow of
	JSPS 3) EcoTonia Science Institute Nagova University

<u>1. 概要(Summary)</u>

Fin 型およびナノワイヤ等の立体構造 Ge チャネル MOSFET 上へのゲート絶縁膜には、10¹¹ eV⁻¹cm⁻² 以 下の低い界面準位密度(*D*_t)、と複雑な構造上への均一 な厚さの膜形成が求められる。我々は、パルス有機金属 化学気相堆積法(パルス MOCVD)による、テトラエトキシ ゲルマニウム(TEOG)および H₂O の交互供給による、 GeO₂ 界面制御層の形成を試みている。今回、MOCVD 法により作製した GeO₂膜(堆積-GeO₂)が high-k/Ge 構 造の界面層として有力に機能することを見出した。

<u>2. 実験(Experimental)</u>

・利用した主な装置

X線光電子分光装置

·実験方法

p型 Ge(001) 基板を希フッ酸洗浄後、原子層堆積 (ALD)装置において、TEOG および H₂O の交互供給に より、基板温度 300°C で堆積・GeO₂を作製した。比較の ため、熱酸化法を用いて GeO₂ 膜を 300°C で作製した (熱酸化・GeO₂)。その後、作製した堆積・GeO₂/Ge 構造 および熱酸化・GeO₂/Ge 上に、ALD 法によって膜厚 4 nm の Al₂O₃ 膜を 300°C で堆積した。最後に、真空蒸着 法により Al 電極を形成し、MOS キャパシタを作製した。

<u>3. 結果と考察(Results and Discussion)</u>

堆積-GeO₂/Ge 構造および、熱酸化-GeO₂/Ge 構造上 への Al₂O₃ 膜堆積前後の Ge 酸化物面密度の関係を X 線光電子分光(XPS)法によって調べた(Fig. 1)。Al₂O₃ 膜堆積にともなう還元作用による Ge 酸化物面密度の減 少量は、堆積-GeO₂の方が少なく、堆積-GeO₂ は熱酸化 -GeO₂と比較して、Al₂O₃膜堆積時のエッチング耐性に優 れることがわかった。さらに、Al₂O₃膜堆積後の Ge 酸化物 面密度がおよそ等しい(~3×10¹⁵ cm⁻²)Al₂O₃/堆積-GeO⁻ 』/Ge 構造および Al₂O₃/熱酸化-GeO₂/Ge キャパシタ構造 の電気的特性から、界面準位密度のエネルギー分布を 調べたところ、Al₂O₃/Ge 界面への GeO₂ 膜挿入により、ミ ッドギャップ付近の界面準位密度を低減できることがわか った。



Fig. 1 The relationship between the area density of GeO_2 layers after and before the 4-nm-thick Al_2O_3 deposition at 300 °C.

4. その他・特記事項(Others)

- ・本研究の一部は、日本学術振興会・科学研究費補助 金・基盤研究(S)(課題番号:26220605)の助成を受けて 推進された。
- ・名古屋大学大学院工学研究 坂下満男 助教、竹内和 歌奈 助教、中塚理 准教授、名古屋大学エコトピア科学 研究所 財満鎭明 教授に感謝致します。

<u>5. 論文・学会発表(Publication/Presentation)</u>

- S. Shibayama *et al.*, Appl. Phys. Lett. **106**, 062107 (4 pages) (2015).
- (2) "パルス MOCVD 法により作製した GeO₂ 薄膜を用い たゲートスタック構造の界面構造と電気的特性",柴山 茂久他,第75回応用物理学会秋季学術講演会,北 海道大学,2014年9月17~20日.
- (3) "GeO2 薄膜の正方晶形成による化学的安定性の向上",柴山茂久他,特別研究会「ゲートスタック研究会 一材料・プロセス・評価の物理一」(第20回研究会),pp. 185-188 (2015).
- 6. 関連特許(Patent)

特許出願済み。